

2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2018年11月12日

上場会社名 株式会社タカギセイコー 上場取引所 東
 コード番号 4242 URL http://www.takagi-seiko.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八十島 清吉
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 林 延幸 (TEL) 0766-24-5522
 四半期報告書提出予定日 2018年11月12日 配当支払開始予定日 2018年12月17日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	26,163	9.9	733	△31.8	642	△32.3	222	△55.8
2018年3月期第2四半期	23,797	15.8	1,076	11.5	948	37.5	502	46.1

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 23百万円(△96.0%) 2018年3月期第2四半期 579百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	81.77	—
2018年3月期第2四半期	184.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	41,667	9,865	16.9
2018年3月期	43,712	9,882	16.1

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 7,029百万円 2018年3月期 7,017百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2019年3月期	—	10.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,830	1.8	1,840	△27.6	1,650	△28.0	670	△55.9	246.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期2Q	2,759,172株	2018年3月期	2,759,172株
2019年3月期2Q	42,071株	2018年3月期	41,952株
2019年3月期2Q	2,717,111株	2018年3月期2Q	2,717,963株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 第1四半期決算短信より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しています。

※ 当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位に変更しております。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に組み替えて表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績と雇用環境に支えられ、引続き回復基調が続きました。海外におきましては、米国では企業の設備投資と個人消費が堅調に推移している一方で、中国との通商政策における問題が顕在化しており、日本経済に及ぼす影響が不透明な状況にありました。

このような状況の中、当社グループは「国内収益基盤の強化」、「海外収益基盤の強化」、「事業運営基盤の強化」の3つの大方針を柱とする事業施策を推進し、厳しい事業環境の中においても安定して継続的に事業展開できる企業を目指しております。具体的な取り組みの一部としましては、生産拠点の整備と能力拡充を目的として、新湊・福光両工場での最新鋭塗装ラインの新設を進めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は26,163百万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。損益面では、製品構成の変動及び針無し注射器部品に関する固定費の増加等により、営業利益は733百万円（前年同四半期比31.8%減）、経常利益は642百万円（前年同四半期比32.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は222百万円（前年同四半期比55.8%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①日本

成形品事業の車両分野向け成形部品の受注の増加等により、売上高は14,304百万円（前年同四半期比8.0%増）となりましたが、製品構成の変動及び針無し注射器部品に関する固定費の増加等により、営業損失は140百万円（前年同四半期は営業損失4百万円）となりました。

②中国

OA分野におけるノートパソコン用筐体部品の受注の増加等により、売上高は7,661百万円（前年同四半期比14.6%増）となりましたが、製品構成の変動及び人件費をはじめとする固定費の増加等により、営業利益は651百万円（前年同四半期比23.1%減）となりました。

③東南アジア

インドネシア・タイにおける受注の増加等により、売上高は4,197百万円（前年同四半期比8.5%増）となり、増収効果等により、営業利益は242百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、41,667百万円と、前連結会計年度に比べ、2,045百万円減少となりました。

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、20,480百万円となり、前連結会計年度末と比べ、2,288百万円減少しました。売上債権の減少（1,298百万円減）、たな卸資産の減少（811百万円減）が主な要因であります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は、21,186百万円となり、前連結会計年度末と比べ、242百万円増加しました。リース資産の増加（266百万円増）、建設仮勘定の増加（385百万円増）、機械装置及び運搬具の減少（101百万円減）が主な要因であります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、20,970百万円となり、前連結会計年度末と比べ、1,070百万円減少しました。仕入債務の減少（1,032百万円減）が主な要因であります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は、10,831百万円となり、前連結会計年度末と比べ、957百万円減少しました。長期借入金の減少（888百万円減）が主な要因であります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、9,865百万円となり、前連結会計年度末と比べ、16百万円減少しました。利益剰余金の増加（194百万円増）、為替換算調整勘定の減少（189百万円減）、繰延ヘッジ損益の減少（16百万円減）が主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して478百万円減少し、4,214百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は3,076百万円（前年同四半期は得られた資金3,035百万円）となりました。増加要因は主に、税金等調整前四半期純利益623百万円、減価償却費1,734百万円、売上債権の減少1,142百万円等によります。減少要因は主に、仕入債務の減少531百万円等によります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は1,918百万円（前年同四半期は使用した資金1,023百万円）となりました。増加要因は主に、長期貸付金の回収による収入32百万円等によります。減少要因は主に、有形固定資産の取得による支出1,724百万円、定期預金の預入による支出234百万円等によります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は1,577百万円（前年同四半期は使用した資金2,109百万円）となりました。増加要因は主に、長期借入れによる収入1,150百万円等によります。減少要因は主に、長期借入金の返済による支出1,957百万円、リース債務の返済による支出956百万円等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績につきましては、2018年10月29日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,753	4,506
受取手形及び売掛金	10,802	9,466
電子記録債権	931	969
たな卸資産	4,875	4,064
未収入金	676	545
その他	731	929
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	22,768	20,480
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,740	3,660
機械装置及び運搬具（純額）	4,483	4,381
土地	6,716	6,615
リース資産（純額）	2,459	2,726
建設仮勘定	429	814
その他（純額）	1,053	962
有形固定資産合計	18,882	19,161
無形固定資産		
ソフトウェア	113	106
のれん	35	29
その他	133	127
無形固定資産合計	282	263
投資その他の資産		
投資有価証券	997	1,035
出資金	248	240
破産更生債権等	96	96
繰延税金資産	226	179
その他	354	353
貸倒引当金	△143	△143
投資その他の資産合計	1,779	1,761
固定資産合計	20,944	21,186
資産合計	43,712	41,667

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,233	4,568
電子記録債務	3,976	3,608
短期借入金	3,062	3,190
1年内返済予定の長期借入金	3,667	3,664
リース債務	1,544	1,425
未払法人税等	225	188
賞与引当金	638	572
役員賞与引当金	18	19
その他	3,675	3,732
流動負債合計	22,041	20,970
固定負債		
長期借入金	7,078	6,190
リース債務	653	827
役員退職慰労引当金	221	93
退職給付に係る負債	3,628	3,575
その他	207	143
固定負債合計	11,788	10,831
負債合計	33,830	31,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,104	2,104
資本剰余金	1,807	1,807
利益剰余金	3,041	3,236
自己株式	△54	△54
株主資本合計	6,899	7,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△110	△76
繰延ヘッジ損益	2	△14
為替換算調整勘定	249	59
退職給付に係る調整累計額	△22	△32
その他の包括利益累計額合計	117	△64
非支配株主持分	2,864	2,835
純資産合計	9,882	9,865
負債純資産合計	43,712	41,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	23,797	26,163
売上原価	19,959	22,446
売上総利益	3,838	3,716
販売費及び一般管理費	2,762	2,982
営業利益	1,076	733
営業外収益		
受取利息	4	12
受取配当金	41	16
作業層売却収入	22	50
助成金収入	29	24
その他	50	50
営業外収益合計	148	153
営業外費用		
支払利息	240	202
為替差損	5	0
その他	30	42
営業外費用合計	276	245
経常利益	948	642
特別利益		
固定資産売却益	7	4
投資有価証券売却益	52	—
特別利益合計	59	4
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	41	23
投資有価証券売却損	3	—
投資有価証券評価損	14	—
特別損失合計	60	23
税金等調整前四半期純利益	948	623
法人税等	222	280
四半期純利益	725	343
非支配株主に帰属する四半期純利益	223	120
親会社株主に帰属する四半期純利益	502	222

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	725	343
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	33
繰延ヘッジ損益	6	△16
為替換算調整勘定	△164	△324
退職給付に係る調整額	3	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△8
その他の包括利益合計	△146	△319
四半期包括利益	579	23
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	415	39
非支配株主に係る四半期包括利益	163	△16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	948	623
減価償却費	1,506	1,734
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21	△61
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8	△127
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8	△58
受取利息及び受取配当金	△45	△28
支払利息	240	202
持分法による投資損益 (△は益)	△8	△6
投資有価証券売却損益 (△は益)	△48	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△7	△4
投資有価証券評価損益 (△は益)	14	—
有形固定資産除却損	41	23
売上債権の増減額 (△は増加)	363	1,142
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△299	730
仕入債務の増減額 (△は減少)	276	△531
その他	360	△109
小計	3,373	3,528
利息及び配当金の受取額	45	28
利息の支払額	△240	△203
法人税等の支払額	△143	△277
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,035	3,076
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△222	△234
定期預金の払戻による収入	12	—
有形固定資産の取得による支出	△990	△1,724
有形固定資産の売却による収入	71	17
無形固定資産の取得による支出	△17	△12
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	123	—
長期貸付金の回収による収入	9	32
その他	△5	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,023	△1,918

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△11	226
長期借入れによる収入	889	1,150
長期借入金の返済による支出	△2,026	△1,957
リース債務の返済による支出	△916	△956
自己株式の取得による支出	△3	△0
配当金の支払額	—	△26
非支配株主への配当金の支払額	△40	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,109	△1,577
現金及び現金同等物に係る換算差額	△57	△59
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△155	△478
現金及び現金同等物の期首残高	4,132	4,693
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,977	4,214

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法等によっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	中国	東南アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	13,245	6,683	3,869	23,797
セグメント間の内部売上高 又は振替高	226	122	0	348
計	13,471	6,805	3,869	24,146
セグメント利益又は損失(△)	△4	847	232	1,075

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,075
セグメント間取引消去	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,076

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	中国	東南アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	14,304	7,661	4,197	26,163
セグメント間の内部売上高 又は振替高	255	62	0	317
計	14,559	7,723	4,197	26,480
セグメント利益又は損失(△)	△140	651	242	753

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	753
セグメント間取引消去	△19
四半期連結損益計算書の営業利益	733

(重要な後発事象)

該当事項はありません。